

経営比較分析表（令和2年度決算）

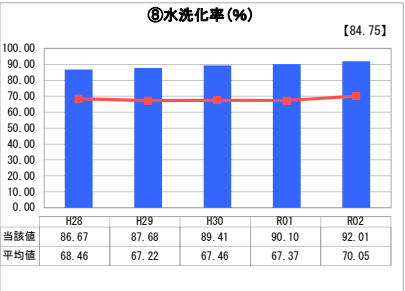
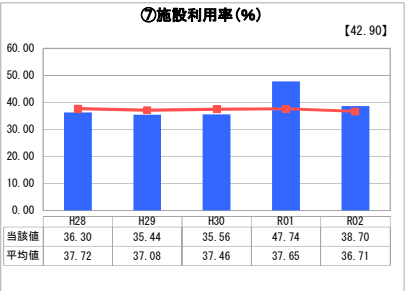
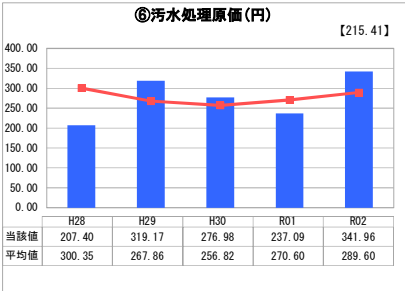
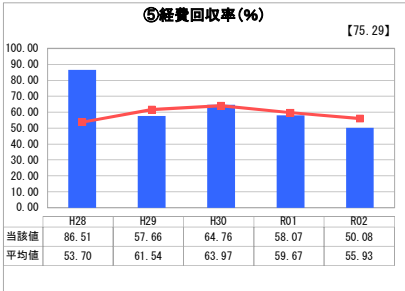
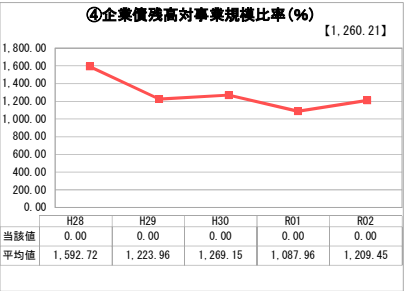
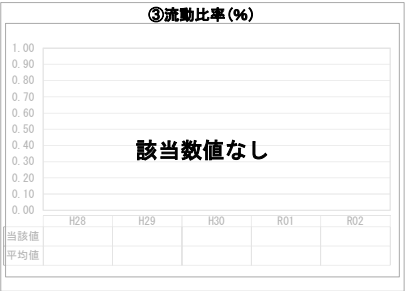
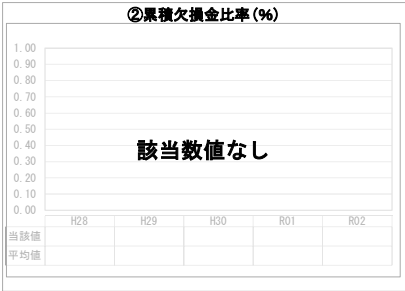
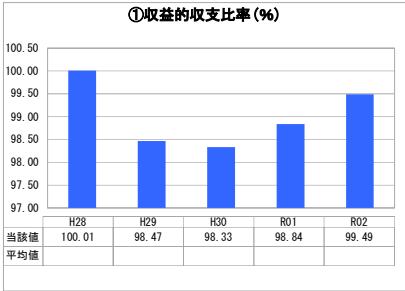
佐賀県 玄海町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	75.73	100.00	3,520

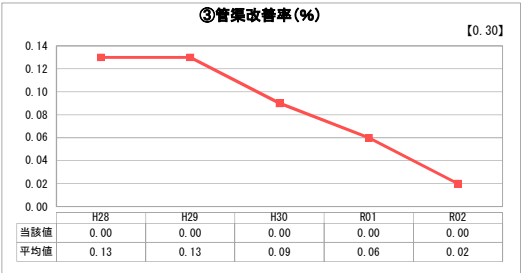
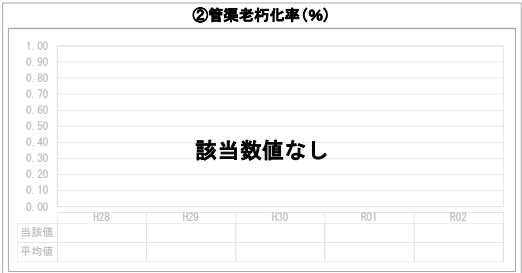
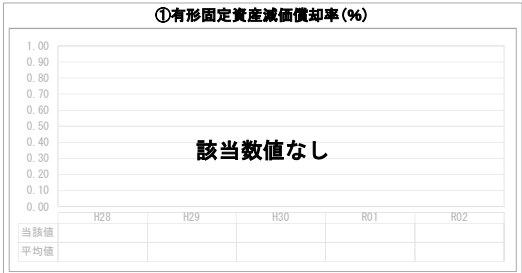
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,406	35.92	150.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,053	1.46	2,776.03

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は平均値よりやや低く50.08%となっており、使用料のみでは経営は成り立たず、一般会計繰入金に依存している現状である。

このため、令和5年度からの企業会計移行にあわせ、料金も見直す予定だが、増額は住民負担を強いることとなるため、料金の賦課方式（現在は人頭制）も見直す予定である。

また、高額な汚泥処分の費用について、少しでも削減するため、その処理方式について検討を進めているところである。

2. 老朽化の状況について

南部浄化センターの併用開始が平成18年度、北部浄化センターの併用開始が平成22年度となっており、近年修繕箇所が度々発生してきている。

このため、整備計画を作成し、計画的に修繕を進めている。

全体総括

人口減や施設の老朽化が進む中、今後も使用料のみでの経営は不可能である。

このため、使用料の改定、処理方式の検討及び計画的な修繕を進めていき、安定的なサービスの供給を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。